

ヨーロッパ・あちこち見物記 欧州・街かど紀行

第13回世界気管支学会が、6月20日からスペイン・バルセロナで開かれ、参加した。短期間の滞在だったが、バルセロナの街をちょっと紹介しよう。

(K.M.)

学会会場の新市街と違って、中心部の旧市街、その中でもピカソ美術館やカテドラルのあるゴシック地区は、いつも人で一杯、賑わっていた。中でも噴水のあるカタルーニャ広場から海辺のコロンブス像に続くランブラス通りは魅力的。隣接する市場に、魚・肉・チーズ・ハム・果物や野菜が豊富に並び、通りの真ん中の広い遊歩道には花屋やカフェ、画家たちが絵を並べ、音楽家たちが音を奏でる。工夫を凝らして人びとを楽しませる大道芸人たちが、遅くまで明るい夏の夜、仕事を終え夕方からの散歩にうってつけだった。

カタルーニャ広場では20人を超すドラマーたち。CONTRA BUSH(ブッシュ反対)と、太鼓の音。観客たちも大きな輪になって呼応し、手をうち鳴らし踊っていた。

ランブラス通りは物騒だとガイドブックに書いてあったし店のおばさんモスリに気をつけてと注意。余分なもの

を持たないで楽しもう。パイオリンとチェロの演奏にうっとりし、真っ白や真っ黒に全身を塗ってのパントマイムに目をぱちくりしたり、チャップリンをまねた芸に笑い転げたり・・・



第13回世界気管支学会がス...

スーパーへ行くと街の人たちのくらしを垣間見ることができる。ホテルのフロントが安いスーパーを教えてください。買い物をしホテルの部屋でも食事。本当に水もパンもハムも果物もワインも安い! ユーロに変わってから、物価は高めに感じるが、食料品は安いと思った。フェットと言われるサラミ風のソーセージが幾種類もぶら下がっている。やわらかくて大変おいしい。

食事に野菜が少ないように思えた。外食も多くなっているようだ。ホテルの朝食は果物のジュースと甘いパンとカプチーノだけ。通りのテラスやカフェで朝食を摂っている人たちのメニューを見ても同じよう。以前バスク地方を訪ねた時は野菜いっぱいの印象だったから、ちょっと違ったが、これは普通の家庭を訪ねていないから、本当のところはわからない。野菜が食べたく



て訪れた台湾料理の「今日飯店」は、地元の人たちが入れ替わり立ち替わり食事に来ていた。

新市街は大学地区でもあり、街並みが広々としていて緑も多い。昔、宮殿だった陶器美術館があって、その庭は森。赤ちゃんを連れ来たお母さんや子どもたち、若者たち、年寄りが、それぞれに散歩をしたりベンチに座ったり、強い日差しを避けて何時間もくつろいでいた。

サンツ中央駅からは各地に伸びる鉄道、長距離バスがある。バルセロナ市内には街を隈無く縦横に走る地下鉄とバス路線。料金も均一、回数券や1・3・5日券もあって手頃で便利だった。降りるとき改札もない。但し車内に無賃乗車・罰金401-0(約5500円)喫煙・罰金30.051-0(約4000円)の看板。



車内にあった無賃乗車・喫煙は罰金の看板!

2004年6月26日 岐阜新聞・朝刊より

高解像度の顕微鏡CT開発

論文、世界が認める

▼肺がん研究、岐阜市の松井さん



顕微鏡CTで撮影された肺。肺動脈と肺静脈がはっきりと見えます。また、細気管支もよく見えます。このように、この装置は従来のCTよりも、肺の構造をより詳細に観察できることが期待されています。

スペインで開かれた第13回世界気管支学会・気管支炎学会、松井英介先生が、高解像度の顕微鏡CTを開発した論文が、世界中の研究者から高く評価され、世界で最も優秀な論文の一つとして、世界気管支学会で最優秀賞を受賞しました。

松井英介さんは、岐阜市在住の呼吸器内科医です。呼吸器内科医として、肺がんの早期発見と治療に力を入れており、高解像度の顕微鏡CTの開発は、肺がんの早期発見と治療に大きく貢献するものと期待されています。

高解像度の顕微鏡CT

従来のCTよりも、肺の構造をより詳細に観察できることが期待されています。

この装置は、従来のCTよりも、肺の構造をより詳細に観察できることが期待されています。

論文、世界が認める

松井英介先生が、高解像度の顕微鏡CTを開発した論文が、世界中の研究者から高く評価され、世界で最も優秀な論文の一つとして、世界気管支学会で最優秀賞を受賞しました。



松井英介さん

呼吸器内科医、高解像度の顕微鏡CTを開発した論文が、世界中の研究者から高く評価され、世界で最も優秀な論文の一つとして、世界気管支学会で最優秀賞を受賞しました。